

物理工学専攻 授業科目関連表

科目群	1年		2年	
	前期	後期	前期	後期
専攻指定	物理工学特論 物理工学特別講義A I ※	物理工学特別講義A I ※	物理工学特別講義AII ※	物理工学特別講義AII ※
研究科共通	先端技術特論I 知的財産権出願特論 工学展望特論（社会人向け） 論文発表演習 国内インターンシップ 長期インターンシップ	先端技術特論II I S O 学特論 ベンチャービジネス特論 論文発表演習 企画力養成演習 国内インターンシップ 長期インターンシップ	（工学展望特論（社会人向け）） （論文発表演習） （国内インターンシップ） （長期インターンシップ）	（論文発表演習） （国内インターンシップ） （長期インターンシップ）
国際教育科目	実践英語 I 国際会議発表演習 学術英語論文発表 国際インターンシップ 短期留学	実践英語 II 国際会議発表演習 学術英語論文発表 国際インターンシップ 短期留学	実践英語 I （国際会議発表演習） （学術英語論文発表） （国際インターンシップ） （短期留学）	実践英語 I （国際会議発表演習） （学術英語論文発表） （国際インターンシップ） （短期留学）
研究領域教育科目	研究領域C 情報処理・情報通信		信号計測システム特論	信号計測システム演習
	研究領域E ナノサイエンス・ナノテクノロジー	多体系物理学特論 凝縮系物理学演習 物性物理学特論 物質情報学特論 ナノ材料設計特論	量子物理学特論 I 多体系物理学演習 凝縮系物理学特論 物性物理学演習 物質情報学特論演習 ナノ材料設計演習	（多体系物理学特論） （凝縮系物理学演習） （物性物理学特論） （物質情報学特論演習）
	研究領域F 先進物質・先進材料	磁性体物理特論	磁気記録工学特論	磁性体物理演習
	研究領域G 社会基盤・生産	トライボロジー特論	機能加工演習	機能加工特論 トライボロジー演習
創成工学教育科目	生産管理論特論 I 実践管理工学特論 実践企業学 機械創成工学特論A 機械創成工学特論B 機械設計製作法特論及び演習・実習 高品質組込みシステム特論	生産管理論特論 II 造船工学特論 先輩から学ぶ先端科学技術 機械設計製作法特論及び演習・実習	（機械創成工学特論A） （機械創成工学特論B） （高品質組込みシステム特論） （高性能電機制御システム設計特論）	
特別研究	物理工学特別研究 I	物理工学特別研究 II	物理工学特別研究 III	物理工学特別研究 IV

赤字コアとなる授業科目

※ 隔年開講科目

工学研究科物理工学専攻

ディプロマ・ポリシー (DP) との関連

科目区分／領域	到達目標	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
専攻指定	学生は、物理工学に関する専門知識に基づいて、物理現象を説明できる。		○	○			
	学生は、物理工学に関する専門知識を利用して、課題に取り組むことができる。	○	○		○		
	学生は、物理工学と実際の技術やデバイスとの関連を説明できる。		○				
研究科共通	学生は、研究現場における最新の知識を得ることができる。			○			
	学生は、研究成果を学術講演会・研究会で発表できる。					○	
	学生は、企業の開発・生産活動に興味を持つことができる。		○		○		
国際教育科目	学生は、研究者・技術者と英語でコミュニケーションをとることができる。		○				○
	学生は、英語でプレゼンテーション・議論ができる。		○			○	○
	学生は、英語で科学技術論文を作成できる。	○	○				○
研究領域教育科目	学生は、情報・信号処理に関する専門知識を課題解決に利用することができる。		○	○	○		
	学生は、量子力学・物性物理学に関する専門知識を材料・デバイス開発に応用することができる。		○	○	○		
	学生は、機械工学・材料工学に関する専門知識を課題解決に利用することができる。		○	○	○		
創成工学教育科目	学生は、企業の産業化プロセスを理解し、説明できる。	○	○		○		
	学生は、企業の品質管理を理解し、説明できる。	○	○		○		
	学生は、企業の設計・生産部門で必要となる知識・技術を習得できる。	○	○		○		

ディプロマ・ポリシー (DP) の説明

DP 1. 多様で広範な知識に基づき、幅広い視野から問題点を発見し、解決できる。【汎用的技能】

DP 2. 現代物理学、機械工学、電気電子工学、およびその融合領域（物理工学）に関する高度な専門知識を有している。【汎用的技能・知識・理解】

DP 3. 論理的な思考により、ものごとの本質を理解し、物理工学の観点から説明することができる。【理解・思考・判断】

DP 4. 自然と社会における様々な現象に関心を持ち、それらを物理工学の視点から観察し、問題解決を試みることができる。【関心・意欲・態度】

DP 5. 物理工学に係る専門的問題・解決方法などを発表・議論することができる。【技能・表現】

DP 6. 技術英語およびそのプレゼンテーションの基礎的な知識と技術を修得し、これを実施することができる。【技能・表現】